

## 平成24年度 第2回 美術館セミナーの実施レポート

- 1 日 時 平成24年8月24日(金) 午前10時から午後3時30分まで
- 2 場 所 茨城県近代美術館 講座室, 企画展示室, 講堂
- 3 参加者 県内の幼稚園, 小中学校, 特別支援学校の教員 他 143名
- 4 活動内容

10:00 受付(地階講堂前)

10:00~10:10 オリエンテーション

10:10~10:30 (1) 平成24年度 学校連携事業案内と美術館の活用法紹介

配付資料とPP提示資料によって、美術館事業についての説明を行った。「簡易模写」「ハロー!ミュージアム」「アートカード」「作家派遣」事業については重点的に取り上げ、それぞれの活用例を提示するとともに、申込みの方法などについても触れた。

講座室には、直接手にとって見られる資料も掲示したところ、各事業について多くの問い合わせがあった。



10:30~11:30 (2) 企画展鑑賞並びにグループワーク(対話型鑑賞演習)

10人ずつ12のグループに分かれ、対話型鑑賞の演習を行った。実際に展示室に飾られている本物の絵を前に、「みる」「かんがえる」「はなす」「きく」という4つを基本にしながら、できるだけ美術の知識に頼らず、みる人同士の対話を通して作品理解を深めた。初対面同士で緊張感があったものの、ねらいに沿った演習ができ、「学校での実践に意欲がわいた」という感想が多く寄せられた。



11:30~11:50 (3) 企画展「須田国太郎 没後50年に顧みる」見所紹介

13:30~15:00 (4) 美術教育講演会「子どもの姿からみる鑑賞教育」

講師 岡田 京子氏 文部科学省 教育課程調査官

平成25年度の関プロ茨城大会において指導助言にあたる教育課程調査官の岡田先生の講演。数多くの実践事例を、作品画像、実際に子どもたちが活動している動画などで紹介するとともに、学習指導要領の改訂についてもポイントをとらえて解説。「わかりやすく、有意義な内容だった」「なかなかない機会なのでありがたい」と大変好評だった。



15:00~15:30 諸連絡 アンケート記入 以降館内自由観覧